



学校だより 4月号

～友だちいっぱい 夢いっぱい 未来へ向かって かがやく星の子～



新たな春を迎えて

校長 西山 久美子

桜色で始まった春、緑の木陰で涼んだ夏、黄金に輝くイチョウを見上げた秋、遠くの真っ白な富士に心洗われた冬。1年間の子どもの成長とともに、上星川の美しい季節は一巡し、また新しい春がやってきました。春休み中に満開を迎えたやわらかなピンク色の桜は、令和4年度のスタートを祝ってくれているようです。保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級、誠にありがとうございます。心よりお慶び申し上げます。



さて、この春92名の卒業生が上星川小を巣立ち、本日77名の1年生が入学しました。全校児童488名でのスタートです。新しい友達、新しい教室、新しい先生、新しい教科書・・・たくさんの新しい出会いに、きっと子どもたちもわくわくしていることと思います。そして「よし、今年はこのことをがんばるぞ。」「こんな自分に成長していきたいな。」など気持ちを新たに今日の日を迎えているのではないのでしょうか。

子どもたちのこの新鮮な気持ち、期待と希望あふれる思いを大切にしながら、一步一步着実に歩みを進めていきたいと考えます。そして、令和4年も季節の美しさを感じながら、子どもたちの優しさと笑顔を重ね、上星川色に輝く楽しい日々を過ごしてほしいと願っています。

コロナ禍での学校生活が3年目となり、まだまだ緊張感をもって感染症対策を講じていかなければなりません、その中でも今できることに全力で向き合い、子どもたちの学びを深めていけるよう努めてまいります。

そして、上星川小学校の「友だちいっぱい 夢いっぱい 未来へ向かって かがやく星の子」の学校教育目標のもと、たくさんの人との豊かなかかわりの中で、子どもたちがきらきら輝く学校にしていきたいと思えます。そのために、教職員一丸となって「子どもたち一人ひとりを大切にする」教育活動を進めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様の温かいご理解、ご協力をお願い申し上げます。